

第5回 阿部慎之助杯争奪国頭地区中学校軟式野球大会

第64回 沖縄県春季中学校軟式野球大会 国頭地区 予選実施要項

◇ 国頭地区予選大会 ◇

1. 目的 軟式野球に親しむ少年に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツの振興を図ると共に、21世紀を担う少年の心身ともに健全でたくましい育成に寄与することを目的とする。
2. 主催 沖縄県野球連盟北部支部
3. 協賛 伊江村教育委員会・ナガセケンコー株式会社
4. 主管 国頭地区中学校体育連盟野球専門部
5. 期日 令和6年2月3日(土)・4日(日)・10日(土) ※予備日11日(日)
6. 会場 3日(土) 今帰仁中学校・本部中学校・名護中学校(1回戦)【開会式は無し】
4日(日) 今帰仁中学校・宜野座中学校・本部中学校・名護中学校(2回戦・準決勝)
10日(土) 伊江村総合運動公園野球場(決勝)【閉会式】
7. 参加資格 (1) 国頭地区内の中学校に在籍する1・2年の生徒で編成されたチーム。なお、1校1チームとする。
(2) 一般社団法人沖縄県軟式野球連盟に登録していること。(硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している者は、連盟に登録することはできない)
(3) 1チームは選手10名以上25名以内、監督1名、コーチ2名以内で編成、ただし、監督、コーチは20歳以上とする。
(4) 大会でベンチに入れる人員は、監督、コーチ、選手及びチーム代表者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)の各1名とする。
(5) 参加資格の特例を認める。
 - 1) 「開催基準8(6)複数校合同チーム」
 - 2) 「地域スポーツ団体等」

※地域スポーツ団体等については、下記資格の保有を必須とする。

 - ①指導者資格(ア～ウのいずれかを保有していること)
ア、日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球)
イ、日本スポーツ協会公認コーチ3(軟式野球)
ウ、BFJ公認野球指導者基礎I(U-15)
 - ②審判員資格
ア、(一財)全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員以上
- (6) 参加にあたっては、各学校の服装・容儀規定を遵守し、基本的には各学校において指導を行う。
8. 競技規則 2023年度公認野球規則及び2023年競技者必携及び本大会競技規則・特別規定に準じて行う。
9. 大会規定 (1) 競技形式
 - ①試合方法はトーナメント方式とし各試合7イニングとする。
 - ②得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。日没、降雨によるコールドゲームはなしとする。(全試合サスペンデットゲームを適用)
 - ③7回を終了して同点の場合は、タイブレーク方式(特別延長戦)を行い、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
- (2) 試合時間
 - ①試合は1時間30分と計算し、1時間前までには球場に到着していること。
- (3) オーダー交換
 - ①オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(記入・確認後速やかに提出)
 - ②攻守の決定は前の試合の4回終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
- (4) 用具
 - ①マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものの球場内への持ち込みを禁止する。
 - ②手袋・リストガードは、原則として「白」か「黒」色の高校野球対応のものを使用する。
 - ③ストッキングの形をしっかりと統一する。

- ④全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)が完全に消えた用具は使用できない。
- ⑤捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)とSGマーク入りの捕手用ヘルメット、マスクを使用する。また、スロートガード、レガース、プロテクター、ファウルカップも使用すること。(打球練習時の控え捕手も同様) また、打者、走者、次打者、ベースコーチ、バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B)とSGマーク入った両側のイヤーフラップ(内側にスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。

(5) タイムアウト

- ①監督が投手の所へ行く回数の制限
監督が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、タイプレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
監督が同一イニングに同一投手の所へ2度目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。尚、その交代した投手が他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
- ②守備側と攻撃側のタイムの回数制限
捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は7イニングで3回以内とする。尚、タイプレーク方式となった場合は、1イニングに1回行くことができる。また、攻撃側についても同様とする。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督が行けば、双方1度として数える。逆の場合も同様とする。

(6) ダッグアウト

- ①抽選番号の若いチームを一塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。
- ②ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
- ③ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)

(7) その他

- ①チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、スパイクも同色とする。(監督・コーチのシューズも同様)【スパイクについては色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。】コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォーム、制服、指定シャツも可とする。
- ②背番号は1~25番を使用し、原則としてポジション順とする。
- ③球場内でのグラウンドコートの着用はチームの統一されたものを着用すること。
- ④アピールは当事者が監督に限る。
- ⑤試合中に起きた事故については応急処置のみとし、その後は各学校で責任を持って処置する。
- ⑥天候の都合で日程変更や球場の変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。

10. 大会使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球(ナガセケンコー・健康ボールM号)とする。

11. 表彰 (1)優勝校・準優勝校・3位の両校には賞状を授与する。

12. 参加申込み (1)令和6年1月27日(金)監督会時に申込書を提出すること。

参加料 (2)地区大会時に参加料(¥10,000)を同時納入すること。

13. 組合せ抽選

監督会 令和6年1月26日(金)17:30~ 名護中学校 会議室

14. その他

(1)不正出場その他規律違反に対しては(財)全日本軟式野球連盟規定細則により処理する。

(2)今大会の上位2チームを3月2日(土)から行われる県大会へ推薦する。

(3)県大会優勝チームは、『全日本少年軟式野球大会』(横浜スタジアム)へ出場できるが、その登録選手(全国大会の登録選手)は第51回国頭地区中体連夏季野球大会への出場はできない。

(4)大会会場が学校のグラウンドになるので、試合前にグラウンドルールを確認して、そのグラウンドルールに従ってゲームを行うこと。

15. 式典

- ◆閉会式
 - ①開式のことば (アナウンス)
 - ②成績発表 (諸喜田真作 国頭地区中体連野球専門部長)
 - ③賞状授与 (野球連盟北部支部)
 - ④閉式のことば (アナウンス)